

特集 輸入車販売【首都圏】

関東甲信越地区 外国メーカー車新規登録台数(2026年1～5月)

	茨城		栃木		群馬		埼玉		千葉		東京		神奈川		山梨		新潟		長野	
	台数	前年同月比	台数	前年同月比	台数	前年同月比	台数	前年同月比	台数	前年同月比	台数	前年同月比	台数	前年同月比	台数	前年同月比	台数	前年同月比	台数	前年同月比
1月	335	104.0	198	102.6	223	94.9	670	91.0	660	102.8	2,624	94.8	1,327	91.5	103	85.1	94	79.7	176	80.7
2月	404	71.5	216	84.7	281	87.8	890	83.7	810	101.6	3,473	98.6	1,636	94.8	113	88.3	170	98.3	212	91.0
3月	564	74.6	360	89.1	471	91.6	1,365	85.5	1,235	101.5	5,060	93.3	2,542	99.0	212	107.6	277	76.7	361	103.7
4月	474	120.3	184	96.3	211	80.8	737	96.3	688	84.3	3,041	101.6	1,499	99.5	124	114.8	160	95.2	207	89.2
5月	470	112.4	224	90.0	318	102.6	919	102.3	869	107.3	3,413	97.1	1,763	99.9	120	91.6	166	95.4	269	110.7

単位:台、%

日本自動車輸入組合統計情報より



勢いを増す米中のEV
メーカーだが、補助金に
おいては、明暗が分かれ
る。26年1月に「クリー
ンエネルギー自動車(C

外国メーカー車の登録
台数が7年ぶりにプラス
となった背景には、米・
テスラや中国・比亞迪
(BYD)のシェア拡大
が一因とされている。両
ブランドは、首都圏でも出
店攻勢を加速させてお
り、販売促進策の強化や
ラインアップの拡充など
により販売増となっている。
テスラは、ボルボや
ポルシェを抑え、輸入車
ブランド別で6位まで浮
上した。BYDは、投入
したプラグインハイブリ
ッド車(PHV)が好調
でけん引役となっている。
軽EV「ラッコ」も
7月には投入されること
からも勢いに拍車がかか
る可能性がある。

勢いを増す米中のEV
メーカーだが、補助金に
おいては、明暗が分かれ
る。26年1月に「クリー
ンエネルギー自動車(C

ラインアップ拡充、補助金効果

需要喚起 高まる期待

2025年度の外国メーカー車モデル新規登録台数順位

順位	ブランド	モデル	登録台数
1(1)	BMWミニ	ミニ	18,861 (5.9)
2(2)	フォルクスワーゲン	ゴルフ	9,257 (27.9)
3(3)	メルセデス・ベンツ	GLC	7,721 (8.0)
4(4)	フォルクスワーゲン	Tクロス	7,415 (17.3)
5(20)	アウディ	A3シリーズ	6,778 (99.9)
6(5)	メルセデス・ベンツ	Gクラス	6,589 (6.0)
7(6)	メルセデス・ベンツ	GLB	6,428 (13.7)
8(12)	BMW	X1	5,467 (24.0)
9(18)	BMW	2シリーズ	5,013 (38.5)
10(一)	BMW	X3	4,921 (一)
11(9)	メルセデス・ベンツ	Cクラス	4,862 (▲7.1)
12(10)	ボルボ	60シリーズ	4,547 (▲9.4)
13(一)	アウディ	A5シリーズ	4,543 (一)
14(13)	メルセデス・ベンツ	GLA	4,394 (3.7)
15(8)	BMW	3シリーズ	4,321 (▲19.9)
16(14)	BMW	1シリーズ	4,264 (1.9)
17(16)	フォルクスワーゲン	Tロック	3,639 (▲6.3)
18(7)	メルセデス・ベンツ	Eクラス	3,632 (▲34.0)
19(一)	ランドローバー	ディフェンダー110	3,568 (一)
20(15)	ボルボ	40シリーズ	3,402 (▲18.6)

単位:台、カッコ内は前年度比増減率、▲はマイナス、順位のカッコ内は前年度順位、一はトップ20圏外。日本自動車輸入組合の資料を基に作成



EV)導入促進補助金」
で、テスラが増額、BY
Dが減額された。テスラ
の、BYDにとっては不
利な条件となっている。
自治体として独自の補助
金を出す東京都において
も同様の状況となってい
る。

一方、底堅い需要があ
る独ブランドも勢いを強
める。メルセデス・ベン
ツは、旗艦車種の「Sク
ラス」を大幅改良して投
入した。大幅改良とはい
え、旗艦車種の投入でも
あり、販売会社からは期
待を寄せる声も聞かれ
る。

輸入車販売のキーパーソン

フォーリングス

培ってきた経験や知識を若い世代に



「営業の現場から店舗
全体をマネジメントする
店長という立場になっ
た。これからはこれまで
培ってきた経験
や知識を若い世
代にフィードバ
ックし、店舗ス
タッフ全員が成
長するよう導い
ていきたい」と
語るのは202
6年1月に「ア

今後の店舗運営につい
て、「EVの『e-tr
on(イーtron)』を
はじめ、アウディのス
ローガンである。技術によ
る先進」をアピールし、
購入後のアフターサービ
スも含め、ユーザーが安
心して購入できる体制を
全スタッフでつくり上げ
ていきたい」と意気込み
を語った。

アウディ横浜青葉
店長
大滝 文士さん

「プロフィール」おおよそ、2002年1
月入社。26年1月アウディ横浜青葉店長就任。休日は
庭の畑で野菜作りや薪(まき)割りなどスローな生活
を送る。

シュテルン世田谷

部下のモチベーション維持に心砕く

メルセデス・ベンツ
新車マネージャー
池田 直哉さん

シュテルン世田谷(板
東徹行社長)の池田直哉
さんは、メルセデス・ベ
ンツ横浜東(横浜市鶴見
区)の新車マネージャー
として活躍している。管
理職として部下に対し、
会社の方針などを咀嚼
(そしゃく)して伝え、
部下とのコミュニケーション
に重きを置
く。部下が日々
努力して車を販
売している姿に
喜びを感じなが
ら仕事に向き合
っている。
池田さんは、
前職で学習塾の

講師として働いていた経
歴を持つ。たまたま見か
けたメルセデス・ベンツ
東名静岡(静岡市駿河
区)の求人をつきかけに
シュテルン世田谷に転職
した。
メルセデス・ベンツ東
名静岡は、当時開設され
たばかりの拠点で、オー
プニングスタッフとして
中古車セールスを担当し
た。販売機会にも恵ま
れ、想定以上の実績を積
むことができたという。
中古車のマネージャーに
も就任し、5、6人の部
下を束ねる役割も担っ
た。
2025年7月からは
メルセデス・ベンツ横浜
東の新車マネージャーに
就いた。新車の販売に慣
れていたわけではないが
た上に、入社して初めて
の転勤で土地勘もない状
態だったため最初は手探
りの状態だった。池田さ
んは「新車と中古車を比
較すると同じ車を売る
にしても別物であるとい
う感覚を持った」と話す。
管理職がやるべきこと
について「部下のやる気
を失わせる環境をつくら
ないことが大切だ」と考
える。こうした環境をつ
くるためには普段から部
下とコミュニケーション
を取ることも重要だとし
ている。

